

City of Sapporo



札幌市制100周年記念事業
記録集



札幌が、もっとはじまる。



SAPPORO



目次

はじめに	2
市長あいさつ	3
基本理念・実施概要	4
ロゴマーク・キャッチフレーズ	7
ワークショップ	9

広報の取組	10
--------------	-----------

記念式典	20
-------------	-----------

記念事業	30
民間企業等の主な取組一覧	31
パートナー協定締結	35
民間企業等の主な取組	36
各局区の取組一覧	65
各局区の取組	69

寄附のご紹介	94
---------------	-----------

札幌市略年表	96
---------------	-----------

City of Sapporo



札幌が、もっとはじまる。

はじめに

市長あいさつ

基本理念・実施概要

ロゴマーク・キャッチフレーズ

ワークショップ



City of Sapporo 100th Anniversary ごあいさつ

大正11年(1922年)8月1日の札幌市誕生から令和4年(2022年)で100年の節目を迎えるにあたり、令和4年から令和5年3月末まで、さまざまな「札幌市制100周年記念事業」を実施してまいりました。

多くの市民や団体、企業等の皆さまの創意工夫により、市制100周年を記念したイベントの実施や商品開発・販売等を行っていただいたほか、記念事業に役立ててほしいと札幌市へのご寄附をいただくなど、様々な形でのご支援・ご協力をいただいたところです。札幌を盛り上げたいという皆さまの熱意と行動力をとても頼もしく感じることができました。

おかげさまで、様々な分野にわたって実施された記念事業が、市民の皆さまにとって札幌市の歴史や文化に触れ、未来について考えるきっかけとなり、札幌が持つ様々な魅力を再認識することで、このまちへの愛着や誇りがより一層深まったものと感じております。そして、その中で前を向いて歩もうとする若い力が着実に育まれていることを見ることができ、私は札幌市の明るく輝く未来への期待を胸いっぱい膨らませております。

改めまして、記念事業に多大なご協力をいただいた全ての皆さまに心から感謝を申し上げます。

この記録集は、札幌市制100周年記念事業の取組内容を記録・保存するとともに、広く皆さまと共有することを目的に作成いたしました。

これまでの100年を創り上げてきた人々への感謝と、これからの100年への希望を胸に、札幌がこれからも魅力的で持続可能なまちであり続けるよう、次の100年に向けた礎となるまちづくりを市民の皆さまと共に進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます、発刊の挨拶とさせていただきます。

令和5年(2023年)3月

札幌市長 秋元克広



これまでの歩みと 新しい100年のはじまり

令和4年(2022年)8月1日、札幌市は、市制が施行されてから100周年の節目を迎えました。

100年前の大正11年(1922年)8月1日、札幌はそれまでの札幌区から札幌市になり、市としてのスタートをきりました。当時の札幌市は、人口は約12万7千人、戸数は約23,000戸、面積は約24平方キロメートルでありました。

夏季はさわやかで冬季は積雪寒冷を特徴とし、鮮明な四季の移り変わりがみられる札幌は、近隣町村との合併・編入によって市域を拡大し、また、大正13年(1924年)の路面電車の円山公園などへの延伸(昭和2年(1927年)路面電車市営化)、昭和25年(1950年)の第1回さっぽろ雪まつり開催、昭和26年(1951年)の円山動物園開園、昭和29年(1954年)の第1回さっぽろ夏祭り開催、昭和32年(1957年)の札幌テレビ塔展望台オープン、昭和35年(1960年)の藻岩山スキー場営業開始や公園等を利用した仲よし子ども館開設(平成8年まで)など、厳しく長い冬がありながらも、まちの魅力を高めながら人口は増加を続けました。

昭和41年(1966年)にはアジアで初めての冬季オリンピック開催が決定し、これを契機として社会資本の整備計画が策定され、地下街オーロラタウン・ポールタウン、地下鉄、豊平川右岸左岸堤防道路などの都市基盤整備、民間資本の建設が進み、昭和45年(1970年)には人口が100万人を突破しました。

昭和47年(1972年)2月の第11回冬季オリンピック開催は、人々の心に世界の友好親善の灯をともし、国際的に知名度が高まった札幌のまちには世界から観光客が訪れるようになりました。

また、同年4月には、札幌市は都道府県の事務の一部も行う政令指定都市に移行し、住民に身近な7つの区役所を開設、市民の声を聞く課を新設するなど新たな体制となっていました。

その後も人口増に対応し暮らしを豊かにするため、道路、上下水道、公園など社会資本整備が進むとともに、お住いの方々の交流やつながりの場である区民センター、体育館、図書館、児童会館や老人福祉センター、保育所などが市内各所に増えていきました。



さらにバリアフリー化など福祉のまちづくりの取り組み、乳幼児や就学児童等の子育て環境の拡充、昭和61年(1986年)の札幌芸術の森オープン、平成2年(1990年)の世界三大教育音楽祭の一つPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)開催、平成9年(1997年)の札幌コンサートホール(Kitara)オープン、平成13年(2001年)オープンの札幌ドームを会場としたFIFAワールドカップ札幌開催(平成14年(2002年))・ラグビーワールドカップ開催(令和元年(2019年))、平成15年(2003年)のアイヌ文化交流センターや環境と芸術が調和したモエレ沼公園の雪冷房システムによるガラスのピラミッドオープン、平成23年(2011年)の札幌駅前通地下歩行空間開通と沿道ビルの接続や建て替え、平成27年(2015年)の路面電車ループ化開業、令和2年(2020年)の国際的な環境性能評価システムの認証取得など、暮らし、芸術文化、スポーツ、賑わい、環境など幅広い面で、まちの魅力を高める様々な取り組みが進められてきました。

また、このまちを住みよくするための各地域などの活動が、多くの方々によって地道に行われてきました。

お住まいになっていない多くの方々からも様々なかたちで応援していただきました。

札幌は、時代の変化や困難を乗り越えながらも、まちの魅力を高め、いまや人口約197万人、世帯数約98万世帯、面積約1,121km²、10区からなる、北海道の中心都市、市民愛着度の高い世界に誇る大都市に発展しています。

札幌市誕生100年の節目に当たり、私たちは、先人の皆さまの取り組み、築き上げてきた財産に感謝をし、そして先人の皆さまから受け継いだこの札幌をこの先に向かって育て引き継いでいかなければなりません。

いま私たちは、地球環境や身近な環境を保全し次世代に引き継いでいくための脱炭素社会の実現、少子高齢化・生産年齢人口の減少・総人口の減少など人口構造の変化、新型コロナウイルス感染症に対応する行動変容やデジタル化の進展、長い間市民の活動を支えてきた都市基盤のリニューアルなど、向き合っていかなければならない社会変化の最中にいます。

これまでの100年の歩みに思いをいたし、札幌がこれからも魅力的で持続可能なまちになるよう、新しい100年に向けて共に歩みを進めていきませんか。



札幌市制 100周年記念事業に ついて



1

実施目的

札幌市は、大正11年(1922年)8月1日に市制を施行し、令和4年で100周年を迎える。これを機会に、持続可能なまちを目指し、市民が札幌の文化や歴史に触れ、未来について考えることを通して、札幌に住み続けたいという思いを抱くきっかけづくりを行う。

また、市制施行100周年は、コロナ禍によって打撃を受けた札幌が、改めて内外にその魅力をアピールする好機でもあるため、市民に札幌への愛着や誇りを深めていただくとともに、少しでも早く活力ある元気な札幌を取り戻すことに資するよう、「札幌市制100周年記念事業」を実施する。

2

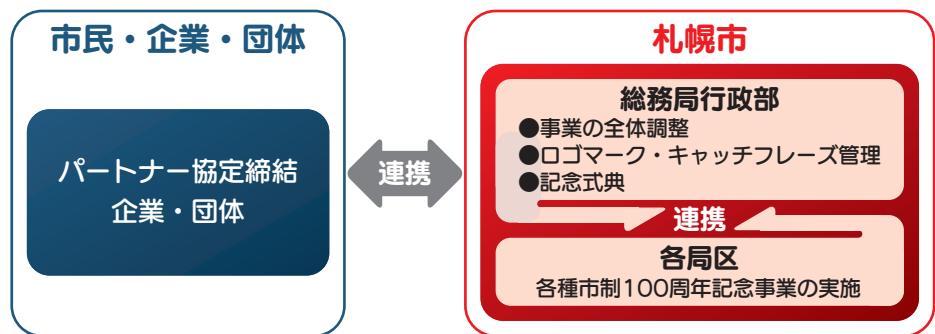
実施期間

令和4年(2022年)1月～
令和5年(2023年)3月31日



3

実施体制



札幌市制100周年記念事業の実施にあたっては、市民や各種団体・企業等と協力し合いながら機運を醸成することとし、「札幌市制100周年記念事業パートナー協定」の締結も行うことで、締結先の各企業・団体もつそれぞれの媒体やイベント、ネットワークを生かした取組を行うものとする。

また、これら民間企業等の取組と連携を行いながら、札幌市においては、事業の全体的な調整や市制100周年記念式典を総務局行政部が所管し、各局区において100周年記念事業を実施するものとする。

はじめに

ロゴマーク・キャッチフレーズ

ロゴマーク キャッチフレーズ

札幌市の魅力を未来につなぐシンボルとなる、ロゴマークとキャッチフレーズを一般公募により作成しました。作成したロゴマークとキャッチフレーズは、様々な100周年記念事業や、それに向けた各種PRなどで活用しました。

決定までの経過

募集期間

令和3年(2021年)
9月1日(水)～
20日(月)

応募総数

キャッチフレーズ
1,628作品
ロゴマーク
337作品

一次審査

10月5日(火)
事務局と審査員の
審査により
それぞれ3作品を選考

一般投票期間

インターネット投票
10月11日(月)～
24日(日)
投票結果
投票者数687人

最終審査

10月26日(火)

一般投票で最多得票を獲得した作品に1票が入り、それに加え、審査員4名による各1票の投票を実施。合計5票の投票の結果、最多得票を獲得した作品を最優秀作品として決定。

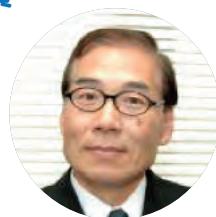
審査員



審査委員長
細谷 多聞氏
札幌市立大学デザイン学部長



審査委員
小林 仁志氏
アリカデザイン代表取締役
クリエイティブディレクター
アートディレクター



審査委員
白井 栄三氏
マーケティングプランナー
北海道教育大学非常勤講師



審査委員
葛西 紀明氏
株式会社土屋ホーム
スキー部選手兼監督

ロゴマーク



キャッチフレーズ

札幌が、もっとはじまる。

●最優秀賞者 **山下 良治** さま

●作品に込められた想い

札幌の街に時を告げる時計台が、札幌市の100周年をお祝いする様子を表現しました。青空と赤い屋根が調和するデザインで、住みたい街札幌の魅力をさりげなくアピールしました。

●最優秀賞者 **眞木 雄一** さま

●作品に込められた想い

歴史と新しさ、自然と文化が調和する札幌市が、人々の誇りと愛着そして希望に根ざした平和的な強い力によって、北海道全体とともに素晴らしい未来へ向かってゆく姿と勢いを表現しました。

はじめに
ロゴマーク・キャッチフレーズ

主な活用事例

多くの皆さまにロゴマーク・キャッチフレーズをご活用いただきました。ここではその一部をご紹介します。



日本清酒株式会社 さま



岩田地崎建設株式会社 さま



北海道のゆうべ(北海道文化放送株式会社 さま)



札幌スタイルPR展
(センチュリーロイヤルホテル さま)



株式会社仙台銘板札幌営業所 さま
さっぽろ鮭&BARキャンペーン実行委員会 さま

札幌市で使用している封筒

ロゴマーク・キャッチフレーズがデザインされた封筒を作成し、皆さまへ文書を郵送する際等に使用しました。



バックパネル

ロゴマーク・キャッチフレーズがデザインされたバックパネルを作成し、市長記者会見等で使用しました。



旗

ロゴマーク・キャッチフレーズがデザインされた旗を作成し、札幌市役所本庁舎正面玄関前ポールに掲揚しました。

はじめに
ワークショップ

開催日時

令和3年(2021年)
12月16日(木)
19時~21時

ワーク
ショップ

参加者

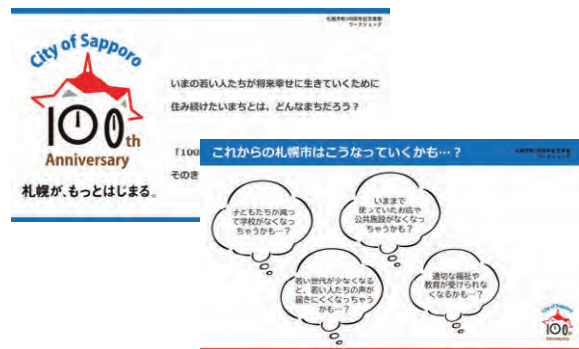
15名

10代：4名
20代：6名
30代：5名

記念事業を実施するにあたり、札幌の未来を担う若者をはじめとした市民の皆さまの意見を取り入れるためのワークショップを開催しました。

当日は公募で集まった15名の方にオンラインで参加いただきました。

参加者には、日頃どんな方法で情報収集をしているのかや、どんなイベントや企画だったら札幌の魅力が知れると思うか、記念式典がどんな内容だったら参加してみたいと思うか、などのテーマに沿って意見交換をしていただきました。参加者からは、アニメ等のキャラクターとの連携や、まちを創るゲームを使って未来の札幌のまちを創り上げる企画といった具体的なアイデアのほか、思いきったインパクトのある要素を取り入れるべきことや、社会貢献の視点を取り入れてはどうかなど様々なアイデアをいただきました。



子どもも大人も
参加できる
イベントに
してほしい!

記念切手や
記念コインを
作るといいかも

初音ミクとかと
コラボして!

抽選でもいいが、
なにかもらえたら
うれしい

テレビ中継を行う
など全員参加の
雰囲気を出して
ほしい!

タカアンドトシ
さんの漫才が
見たい!

パトリンリレーなど
小学生などと
連携することが
できたらいい

主な意見
アイデア

学生デザインの
装飾をおこなう!

ガンダムも
100年に関係が
あるためバンダイと
コラボする

ドローンを
たくさん飛ばして
札幌の街を
上からみる

バスや地下鉄などの
公共交通機関を
ラッピング!

サーモン
食べ放題
をしたい

マインクラフト
で未来の
札幌コンテストを
してほしい!

みんなで
ごみ拾い!
その中に100万円
を仕込んで
探すゲーム!



広報の取組

アンバサダー の任命

札幌市出身で、お笑い芸人の錦鯉の長谷川氏と北海道を応援するキャラクター雪ミク(100周年オリジナルデザイン)の2人を札幌市制100周年をPRするアンバサダーに起用し、リアルとバーチャルの異色のコンビで札幌市制100周年のPRを展開しました。

これからの100年を担う若者世代を含め、多くの皆さまに札幌市制100周年をPRするために、インパクトのある見た目にしました。



札幌が、もっとはじまる。

札幌市制100周年 次の100年 ここにちほ!!!

令和4年(2022年)8月で、
市制施行100周年を迎える札幌市。
100年間ではまったさまざまな出来事が、
今の札幌市をつくり上げてきました。さあ、今度は私たちの出番。
ここから何かをはじめること、未来の札幌市が活気づくはず!

次の100年、一緒につくっていきましょう!

ポスター・ステッカー
の掲示

多くの皆さまに札幌市制100周年を知っていただくため、ポスター及びステッカーを作成、札幌市内の学校や公共施設、札幌市営地下鉄車内のほか、民間企業や飲食店にもご協力をいただき多くの場所に掲示していただきました。

ポスター



地下鉄窓下用ポスター



ステッカー



掲示の様子



主な掲示場所

- 大倉山ヌーベルプース
- 北洋銀行札幌市内各店舗(246店舗)
- 北海道コカ・コーラボトリング株式会社が所有する社用車及びトラック
- 郵便局(札幌市内227郵便局)
- 北ガスアリーナ46等の市内体育施設(22施設)
- Kitara等の芸術文化財団施設(6施設)
- 札幌市営地下鉄構内の掲示板(24駅25か所)
- 市内図書館(10施設)
- 市立小学校(199校)
- 市立中学校(99校)
- 市立高校(7校)
- 市立中等教育学校(1校)
- 市立特別支援学校(5校)
- 市内道立高校(26校)
- まちづくりセンター(87施設)
- 円山動物園等の生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク(17施設)
- 若者活動センター(4施設)
- 若者支援総合センター



札幌市制100周年 テーマソングの作成

CMやドラマ主題歌など、聞く人の心を捉えて離さない楽曲を多数手がけるボーカルグループGReeeeNによる、明るい未来へと歩み出す人々の様子を歌った楽曲「始まりの唄」を、合唱曲にアレンジしたものを札幌市制100周年のテーマソングに採用しました。

また、市民の皆さまがクラスメイトや部活の仲間、職場の同僚などと一緒に100周年の節目を盛り上げることができるよう、同曲の合唱用の楽譜を同時に公開しました。

始まりの唄
札幌市制100周年テーマソング

作詞・作曲 GReeeeN
編曲 まさおのおと

地下鉄コンコース
での放送

令和4年(2022年)9月20日～12月31日の間、札幌市営地下鉄の全49駅のコンコース内にて放送しました。

札幌市制100周年 記念動画の作成

新しい100年に向けて歩みを進めるといふ記念事業のコンセプトに合ったテーマソングを、札幌市出身である、錦鯉の長谷川雅紀さんやインフルエンサーの佐藤ノアさん、秋元市長のほか、多くの市民の方々が歌いつなぐ記念動画を札幌市制100周年特設ウェブサイト及び札幌市公式YouTubeチャンネルのほか、札幌市内に設置されている大型ビジョンで放映しました。



YouTube公開期間／令和4年(2022年)7月1日～12月31日(再生回数274,213回)

**ご出演
いただいた
皆さま**
(敬称略・登場順)

田村 風花	多田 真悠	青木 瑛都	高田 光太	札幌市立さくすいもとまち幼稚園
札幌市立幌西小学校	札幌市立啓明中学校	札幌市立中央中学校	市立札幌旭丘高等学校 教諭	
市立札幌旭丘高等学校 教諭	秋元 克広 市長	錦鯉 長谷川 雅紀	市立札幌旭丘高等学校 合唱部	佐藤 ノア
Barre Robin / Parfitt Daniel	札幌 North Wind	森 夫妻	市立札幌旭丘高等学校 合唱部教諭	市立札幌旭丘高等学校 サッカー部
佐藤 千亜紀	Yukikaze Technology	MANABIYA DANCE STUDIO	さっぽろレインボープライド実行委員会	瀬川 貴博
ウレシパクラブ	市立札幌みなみの杜高等支援学校	岩崎 純一	小川一家	北島蘭 / 田中K助 / さつらいかほ
				富田奈美 / 富田桃百 / 大野いつか

**大型ビジョン
での放映**

7/9 ~ 12/31	駅前通地下歩行空間広場(北大通・北3条)
7/16 ~ 12/30	エコチルまちビジョン(西2丁目地下歩道)
8/1 ~ 9/30	サブロー .TV(すすきの交差点)
8/1 ~ 8/31	HILOSHI(さっぽろ地下街オーロラタウン入口)
10/1 ~ 10/30	
7/11 ~ 7/31	札幌PARCOビジョン(札幌PARCOビル西側壁面(駅前通り沿い))

特設WEBサイト
の開設

各種情報発信を行うため、札幌市制100周年の特設WEBサイトを開設しました。

開催期間

令和4年(2022年)
6月1日(水)～
12月31日(土)

アクセス数

228,330
回

主な内容

記念動画の公開
テーマソング楽譜の公開
札幌のイチ推し100選
記念式典の紹介
ご協力企業さま紹介



イチ推し100選及び Twitter連動企画の実施

札幌のイチ推し100選と題して、札幌を愛してやまない102名の方が思う札幌のイチ推しを紹介いただきました。こちらの画面上から「#(ハッシュタグ)だから札幌が好きなんです」が付いたメッセージをツイートすることができ、「100選」に触発されたツイートが拡散することで、多くの方が札幌の魅力に改めて気付いたり、札幌の話で盛り上がりたりして、札幌への愛着を深めていただくきっかけとする企画を実施しました。



イチ推し100選への寄稿者一覧(五十音順)

- | | | | |
|---------------|--------------|------------|--------------|
| 青木康明さん | 金田竜也さん | 高橋芽以さん | 二神敏郎さん |
| 青山千景さん | 鎌田孝さん | 田口彩夏さん | ふみさん |
| 青山則靖さん | 川原悟さん | 橘真哉さん | 古里裕之さん |
| 青山弥央さん | 日下怜奈さん | 田中勲さん | 本間一慶さん |
| 秋元克広(札幌市長) | 草嶋洋史さん | 谷口顕一郎さん | マーカス・ボスさん |
| 東香織さん | 国井美佐さん | 千須和侑里子さん | Maiさん |
| 阿部雅司さん | 国松希根太さん | 筒淵信子さん | 松岡修司さん |
| 荒井浩一さん | 国松紗智子さん | DJ TAMA | 松本かおりさん |
| 五十嵐慎一郎さん | 小出アキラさん | 中島秀之さん | まりえさん |
| 石沢綾子さん | 小島紳次郎さん | 中島洋さん | 三上タイキさん |
| EXIT 兼近大樹さん | 小西由稀さん | 中村秋季乃さん | 水野悠希さん |
| EXIT りんたろー。さん | 小林仁志さん | 中村直幹さん | 村井啓人さん |
| 磯田彩実さん | 斉藤陸斗さん | 新井田孝則さん | 村澤規子さん |
| 市川草介さん | 桜井良太さん | 錦鯉 長谷川雅紀さん | 森環さん |
| 市之宮直子さん | 佐藤ノアさん | 西村淳さん | 森田絹子さん |
| 伊藤哲也さん | 佐藤麻美さん | 野原肇さん | 柳谷由美さん |
| 猪熊梨恵さん | 島田英二さん | 長谷川圭介さん | 矢野直美さん |
| 岩井莉子さん | 下山武徳さん | 畑山悠月さん | 八幡淳さん |
| 岩本恭生さん | ジューシー坂部さん | 日野ヤヨイさん | 山田祐伸さん |
| 江上太悟郎さん | しょうさん | 平村久美子さん | 湯浅知里さん |
| 及川量裕さん | 小路幸也さん | 平谷庄至さん | 雪ミク |
| 奥山勉さん | そらさん | 深井一希さん | 吉原壮登さん |
| オサナイミカさん | Daipoさん | 深江園子さん | リョウイチ・カワジリさん |
| 折茂武彦さん | タカアンドトシ タカさん | 深澤朝香さん | 和田由美さん |
| onちゃん | タカアンドトシ トシさん | 福崎里美さん | |
| 加藤秀克さん | 高瀬一矢さん | 福津京子さん | |

Twitterを用いた広報の実施

札幌市制100周年記念事業公式Twitterアカウントを開設し
幅広い世代へのPRを展開しました。



主なツイート内容

特設WEBサイトの開設

記念動画の告知

アンバサダー就任

オリジナルフレーム切手の販売告知(※再販売の際にもツイートを実施)

記念式典参加者応募告知(※応募終了日1週間前、3日前、前日にもツイートを実施)

札幌のイチ推しを共有する「イチ推し100選」企画のPR(※定期的にもツイートを実施)

※その他、皆さまによる市制100周年関連のツイートをリツイートいたしました。

広報さっぽろ

市内に全戸配布されている「広報さっぽろ」にて、3か月に渡り市制100周年特別企画を
実施しました。



令和4年(2022年)6月号

市制100周年記念式典の観覧者募集や、読者の皆さまからメッセージを募集する企画を実施



令和4年(2022年)7月号

花電車の復刻運行やマイコンラフトコンテストの実施等、100周年記念事業の紹介



令和4年(2022年)8月号

広報さっぽろキャラクターギュウ太と秋元市長による対談や、札幌にゆかりのある方々及び広報さっぽろ6月号で募集したメッセージの紹介や、札幌市が歩んだ100年を紹介

メディア関係

各テレビ局、新聞各紙、各雑誌等で取り上げていただきました。

UHB(みんテレ)



放送日

令和4年6月7日

主な内容

市制100周年アンバサダー錦鯉の長谷川氏による記念式典観覧者募集告知

HBC(今日ドキッ!)



放送日

令和4年6月20日

主な内容

市制100周年アンバサダー錦鯉の長谷川氏による記念式典観覧者募集告知

HTB(イチモニ!)



放送日

令和4年7月6日

主な内容

市制100周年テーマソング「始まりの唄」を特集
札幌市制100周年記念ソング
スペシャル動画に錦鯉・長谷川さん参加

HTB
(錦鯉が行く!のりのり散歩)



放送日

令和4年7月16日

主な内容

市制100周年アンバサダー錦鯉の長谷川氏による記念式典観覧者募集告知

その他主なもの

- HTB(イチモニ!)/令和4年(2022年)6月15日、7月20日、7月23日
- STV(どさんこワイド179)/令和4年(2022年)6月9日
- TVh(ウオッチング札幌NEXT100)/令和4年(2022年)8月21日
- TVh(スイッチン!)令和4年(2022年)6月25日
- ジェイコム株式会社(札幌市制100周年記念「拓く、札幌の未来」)/令和4年(2022年)8月1日
- 日本経済新聞/令和3年(2021年)9月9日朝刊、11月13日朝刊、令和4年(2022年)5月12日朝刊、6月15日朝刊、7月28日朝刊
- 北海道建設新聞/令和3年(2021年)11月12日、令和4年(2022年)6月1日、7月6日、8月2日、7月27日
- 北海道新聞/令和3年(2021年)11月12日朝刊、令和4年(2022年)1月14日朝刊、3月10日朝刊、4月28日朝刊、5月28日朝刊、6月1日朝刊、6月3日朝刊、6月4日朝刊、6月18日朝刊、7月1日朝刊、7月7日朝刊、7月9日朝刊、7月15日朝刊、7月24日朝刊、7月28日朝刊、7月30日朝刊、8月1日朝刊、8月2日朝刊、8月9日さっぽろ10区、8月13日朝刊、8月18日朝刊、12月6日さっぽろ10区
- 毎日新聞/令和4年(2022年)5月17日朝刊、6月3日朝刊、6月28日朝刊、8月1日朝刊
- 読売新聞/令和3年(2021年)11月12日朝刊、令和4年(2022年)2月23日朝刊、6月5日朝刊、7月7日朝刊、8月1日朝刊、8月2日朝刊
- けんせつ国土/令和4年(2022年)9月23日発行
- 財界さっぽろ/2022年9月号
- じゃらん/2022年7月号
- 北方ジャーナル/2022年9月号
- Poroco/2022年5月号

City of Sapporo



札幌が、もっとはじまる。

札幌市制
100周年記念式典

NEXT 100YEARS
KICK OFF FES.

札幌市制100周年記念式典

NEXT
100
YEARS
KICK OFF FES.

これまでの100年の歩みに思いをいたし、札幌がこれからも魅力的で持続可能なまちであり続けるよう、新しい100年に向けて歩みを進めるきっかけとなることを願い、札幌市制100周年記念式典「NEXT 100YEARS KICK OFF FES.」を開催しました。

実施概要

- 事業名** 札幌市制100周年記念式典 NEXT 100YEARS KICK OFF FES.
- 日時** 令和4年(2022年)7月31日(日)16:00~19:00
- 会場** 札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市中央区北1条西1丁目)
- 観覧応募者数** 10,475名 **来場者** 1,666名 **ライブ配信** 1,857回
- アーカイブ配信(8月2日~8月8日)** 3,889回

札幌市制100周年記念式典
NEXT 100YEARS KICK OFF FES.
式次第

第1部「式典の部」16:00~17:20

- オープニング映像上映
- 開式
- オープニングアクト
- 市長式辞・来賓祝辞
- ビデオメッセージ
- 『平和へのメッセージ』受賞作品 表彰式
- 市制100周年バースデースイーツお披露目式
- 閉式

第2部「祝祭の部」17:35~19:00

- スペシャルステージ
- 市長とゲスト・市民によるクロストーク
- グランドフィナーレ
- 記念撮影
- エンディング



当日配布パンフレット

式典出演者



札幌市長 秋元克広

市民のためになるまちづくりをやってみたいと考え、昭和54年に札幌市役所入庁。南区長や副市長を歴任した後、平成27年札幌市長に初当選。平成31年に再選、現在に至る。



錦鯉 長谷川雅紀(アンバサダー)

お笑い芸人、漫才師。「M-1グランプリ2021」において、史上最年長にして優勝を果たす。札幌生まれ。30歳まで札幌市に在住。この度、札幌市制100周年のアンバサダーとして札幌市制100周年を広く伝える。



雪ミク(アンバサダー)Art by はねこと©CFM

北海道を応援するキャラクター。2010年の『さっぽろ雪まつり』で“真っ白い”初音ミクの雪像を作ったことをきっかけに誕生。それ以来「雪ミク」が主役のフェスティバル「SNOW MIKU」を毎年北海道で開催。現在では、北海道を盛り上げる各種取組のアンバサダーを務めるなど、応援の場を多方面に広げている。



佐藤ノア(公式インフルエンサー)

札幌市出身。ファッションモデル、YouTuberなどマルチに活躍するインフルエンサー。Instagramのフォロワー数は50万人以上。



佐藤麻美(司会)

フリーアナウンサー。司会やモデレーター、講演会、トークショーをはじめCMやテレビ出演、料理教室など多岐に渡り活動中。野菜ソムリエプロなど食の資格を多数所持し、「そらち食の応援アンバサダー」として空知の口福食材をSNSで発信。HTB「おにぎりあたためますか!」のMCを16年間担当。



タカアンドトシ(スペシャルゲスト)

札幌の中学校の同級生だった2人が1994年5月にコンビを結成。2004年の「M-1グランプリ」で決勝進出し、2005年と2006年の「爆笑オンエアバトル チャンピオン大会」で優勝。全国ネットから北海道ローカルまでバラエティ番組を中心として長期的にMCを務め、漫才でも舞台に立ち続けている。



錦鯉(スペシャルゲスト)

長谷川雅紀(1971年札幌市出身)と、渡辺隆(1978年東京都出身)によるお笑いコンビ。2012年にコンビを結成。2020年「M-1グランプリ2020」では、初の決勝に進出。史上最年長ファイナリストとして4位という結果を残した。翌年の「M-1グランプリ2021」では、史上最多6017組がエントリーの中、優勝を果たす。



札幌大学ウレシパクラブ(アイヌ古式舞踏)

「ウレシパ」とは、アイヌ語で「育て合い」の意味。札幌大学の「ウレシパ・プロジェクト」ではアイヌの若者たちに奨学金を給付して大切に育てるとともに、アイヌ文化を学ぶ様々な学生と一緒に多文化共生のモラル創出を目指しています。ウレシパクラブは、学生だけでなく一般市民や志の高い企業とともに、ウレシパ・プロジェクトを推進する組織です。



札幌ジュニアジャズスクールClub SJF(ジャズ演奏)

札幌芸術の森を拠点に活動する小中学生を対象としたジャズスクール。ジャズを通して参加する子どもたちの自己表現力や協調性を高めることを目的として、小学生クラス「SJF Junior Jazz Orchestra」と中学生クラス「Club SJF」の2つのバンドを編成し、道内各所で行われる音楽イベントに出演し演奏活動を展開しています。



平岸天神ソーラン踊り保存会(YOSAKOIソーラン演奏)

大賞10回準大賞10回の最多受賞チームであり(2022年現在)、正調ソーラン節の味わいある曲と個性豊かな作品は、国内外からも高い評価を受け、よさこいの枠を超え全国において年間100回を超えるイベント等の出演、海外においても踊りを披露するなど、「更なる感動を！」を合い言葉に、新たな感動と熱気を全国・全世界へ発信。



市立札幌旭丘高等学校合唱部(合唱)

平成8年度に部活動を再結成以来、高文連・NHK・全日本合唱連盟主催の数多くの全国大会に出場。平成24年度の全日本合唱コンクール全国大会での金賞受賞のほか文部科学大臣賞(全国1位)の受賞を皮切りに、同大会に8年連続で出場し、金賞2回、銀賞2回を受賞。



北海道札幌南高等学校書道部(書)

昭和30年に創設された老舗部活。高文連書道部門での全国大会選抜や学校書道展などの各種展覧会でも優秀な成績を収める。北海道150周年記念式典など多数のイベントにて書道パフォーマンスを披露。普段の作品制作のほか、書道の魅力を広く発信しています。

ほか、札幌市民の皆さま

オープニング映像上映

札幌市制100周年記念ソングGReeeeN「始まりの唄」



札幌市制100周年のテーマソングに採用した、ボーカルグループGReeeeNによる、明るい未来へと歩み出す人々の様子を歌った楽曲「始まりの唄」を合唱版にアレンジしたものを、札幌市出身で札幌市制100周年アンバサダーを務める、錦鯉の長谷川雅紀(はせがわ・まさのり)さんやインフルエンサーの佐藤ノア(さとう・のあ)さん、秋元市長のほか、多くの市民の方々が歌いつなぐ記念動画を上映しました。

オープニングアクト

ウレシパクラブ アイヌ古式舞踊



多文化共生のモデルづくりを目指し、未来のアイヌ文化の担い手を大切に育てる取組を行う「札幌大学ウレシパクラブ」の皆さまより、『ムックリ』、『フッタレチュイ』、『エムシリムセ』、『イオマンテリムセ』の4演目のアイヌ古式舞踊を披露いただきました。式典のオープニングを飾る素晴らしいステージとなりました。

市長式辞



札幌市長の秋元克広より、皆さまへご挨拶申し上げます。

市長からは、「これまでの100年間の様々な出来事、そして、これまでの100年間の先人の皆さまや今日を共にする皆さまの創意工夫、チャンスを活かした取組、地道な取組の一つひとつが、レガシーとなって、人口約197万人を擁する今の札幌市をつくり上げてきました。」「これまでの100年への感謝と、これからの100年への希望を胸に、共に歩みを進めていきましょう。」などの言葉がありました。

来賓祝辞

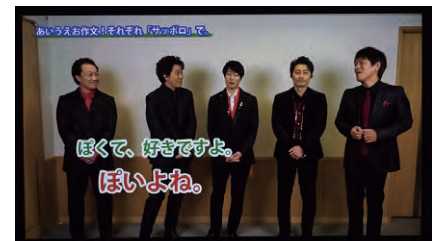


ご来賓代表として、北海道知事鈴木直道(すずき・なおみち)さまから賜った祝辞を北海道副知事の小玉俊宏(こだま・としひろ)さまより、代読いただきました。

「札幌市の発展は、先人たちが様々な困難を乗り越え、培ってきた財産はもとより、秋元市長をはじめ市民の皆さまの郷土(ふるさと)を愛する熱い思いとたゆまぬ努力の賜であり、深く敬意を表する次第です。」「今後においても、将来に渡って魅力と活力あふれる札幌を目指し、次の100年に向けた確かな歩みを進められますことをご期待申し上げます。」などのお言葉がありました。

ビデオメッセージ

EXIT・葛西紀明選手・小林陵侑選手・TEAM NACS

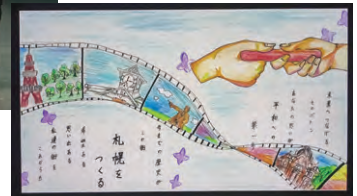


札幌に所縁のある方々から、市制100周年を迎える札幌市へのあたたかいメッセージをいただきました。

大人気のお笑い芸人「EXIT」のお二人やスキージャンプ競技のオリンピックメダリストである葛西紀明選手と小林陵侑選手、演劇ユニット「TEAM NACS」の皆さまのサプライズでの登場に会場は沸きました。

「平和へのメッセージ」

受賞作品 表彰式



子どもたちに平和について改めて考えてもらう機会として毎年実施している、「平和へのメッセージ」。市内の小学5・6年生と中学生を対象に、「平和」をテーマに絵や詩で表現した作品を募集するもので、今年は市制100周年を記念して特別に「札幌の平和な未来」を中学生部門のテーマにしました。

この日は、1,281作品の中から選ばれた優秀賞2作品、入選8作品を上映し、市民の皆さまと『平和を願う想い』を分かち合いました。

その後、優秀賞を受賞された伊藤栞(いとう・しおり)さん、塚田心音(つかだ・ここね)さんへの表彰式を執り行いました。お二人は受賞挨拶で「バトンをつなげるように平和な日常を未来につなげて行ってほしい(伊藤さん)」、「豊かな自然を未来に残したいという思いで作品を描いた(塚田さん)」と、それぞれが作品に込めた思いを語ってくださいました。

市制100周年バースデースイーツ

お披露目式



さっぽろスイーツプロジェクトに参加する菓子店の皆さまが市制100周年を記念して作成したスイーツが大集合しました。さらに、北海道洋菓子協会会長である田中英雄(たなか・ひでお)さま(「菓子の樹」オーナー)が、ステージ上で最後の仕上げを行って完成させた札幌市へのバースデーケーキを披露してくださいました。また、同プロジェクトを主催するスイーツ王国さっぽろ推進協議会会長の土井大輔(どい・だいすけ)さま(「べんべや」代表取締役)はご挨拶で「パティシエを輝かせ、これからも市民の皆さまと札幌スイーツを盛り上げていきたい。」との熱い思いを語ってくださいました。

スペシャルステージ

錦鯉・タカアンドトシ



札幌市出身の長谷川雅紀さんと相方の渡辺隆(わたなべ・たかし)さんのコンビ錦鯉と、共に札幌市出身であるタカアンドトシのお二人が、それぞれ市制100周年をネタに取り入れた漫才を披露してくれました。その後、4人での札幌にまつわるトークでは、札幌への想いを面白おかしく語り、大きな笑いで会場を沸かせてくれました。

市長とゲスト・市民によるクロストーク



秋元市長、タカアンドトシのお二人、佐藤ノアさんと司会の佐藤麻美(さとう・まみ)さんが未来を担う若者10名を交えてトークセッションを行いました。

若者の中にはキャビンアテンダントやホテルスタッフ、パティシエという将来の夢の職業の服装で登場してくれた方もいました。

トークは事前に設定したテーマに沿って、参加者が穴埋めをする形で進行。若者たちから、「これからの100年は『 』札幌」のテーマでは、『所得制限のない』札幌として、子ども手当等の所得制限の緩和が少子化に効果的ではないか、という意見や、『グローバル』札幌として、東京や大阪に並ぶくらい札幌が海外の方から人気のある街になってほしいという意見、『外国人にも優しい街』札幌として、札幌の誇れるものを多くの外国の方にも知ってほしいという意見、そこから話題が展開し、札幌の誇れるものとして、「化石」を挙げた方もおり「札幌市博物館活動センターにある大きな海牛の化石が誇れると思う」というお話もありました。さらに『SDG s なまち』札幌として、SDG s の考え方を広めて札幌市が持続可能なまちになってほしいという意見がありました。

また、「私は、『 』をはじめ。」のテーマでは、『更なる努力』をはじめるとして、カーリングで将来のオリンピック出場を目指すといった力強い夢を語ってくれた方もおり、大変盛り上がるトークとなりました。

グランドフィナーレ

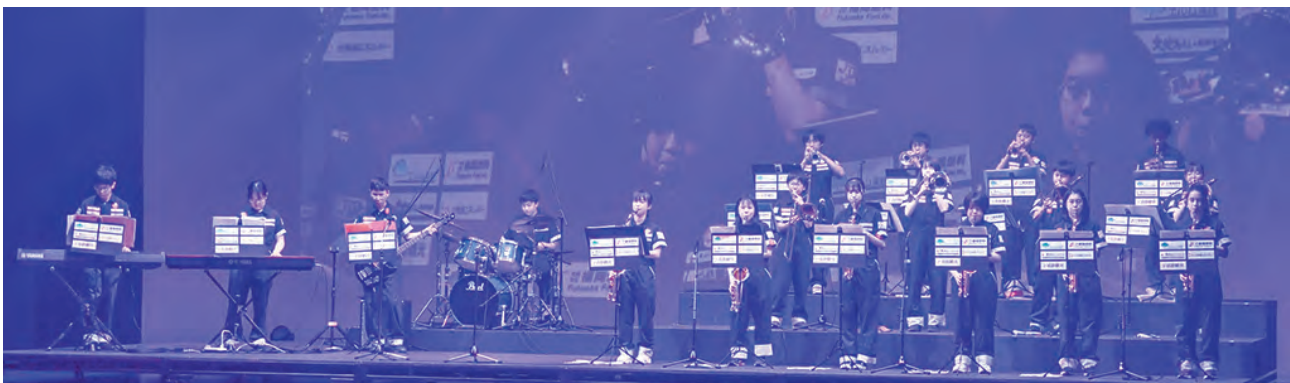
グランドフィナーレに向けて
札幌市制100周年アンバサダーを務める雪ミクも登場!



ジャズ、YOSAKOIソーラン、合唱、書道の各ジャンルで活躍する若いチカラが結集し、未来の夢や希望を胸に力強いライブパフォーマンスを繰り広げました。

グランドフィナーレ

札幌ジュニアジャズスクールClub SJFライブ演奏



札幌ジュニアジャズスクールClub SJFの皆さまが、ジャズのライブ演奏パフォーマンスを披露。ソロパートを含む全2曲の力強い演奏で会場を沸かせました。

グランドフィナーレ

平岸天神ソーラン踊り保存会



YOSAKOIソーラン祭りでも過去最多10回の大賞に輝いた平岸天神ソーラン踊り保存会の皆さまによるYOSAKOIソーランの演舞。平岸天神ジュニアにも出演いただき、ステージ全体を使った迫力ある演舞で会場を盛り上げてくれました。

グランドフィナーレ

GReeeeN「始まりの唄」合唱&書道パフォーマンス

市立札幌旭丘高等学校合唱部

北海道札幌南高等学校書道部



札幌旭丘高等学校合唱部の皆さまの「始まりの唄」の合唱に合わせ、札幌南高等学校書道部の皆さまに「始まりの唄」の一節と、札幌市が未来に向けて発展していくことを願いに込め「輝け」という文字を書いていただきました。

素晴らしい歌声と迫力のある書道作品のコラボレーションで感動的なフィナーレになりました。

記念撮影・エンディング



札幌南高等学校書道部の作品

式典当日に、札幌南高等学校書道部の皆さまに揮毫いただいた書道作品を札幌市役所本庁舎1階西側ロビーへ展示しました。

展示に際し、札幌南高等学校の皆さまにお越しいただきました。

- 展示期間／令和4年(2022年)11月8日(火)～令和5年(2023年)3月22日(水)

その他の会場の様子



展示パネル

札幌市各局区が実施する札幌市制100周年記念事業の取組を紹介するパネルを作成し、5階ホワイエに展示しました。



オリパラブース

オリンピック・パラリンピックの札幌招致について多くの方に知っていただくことを目的に、PRブースを展開しました。ブースでは、選手の全身パネルの設置や、記念グッズの配布等を行いました。



来場記念グッズ

来場の皆さまへ記念グッズ(エコバッグ、うちわ、BOXティッシュ、ステッカー、缶バッジ)を配布しました。



祝電・祝花をいただいた方々のご紹介



祝電(順不同)

衆議院議員	伊東 良孝	さま
参議院議員	岩本 剛人	さま
衆議院議員	神谷ひろし	さま
衆議院議員	鈴木 貴子	さま
参議院議員	高橋はるみ	さま
衆議院議員	武部 新	さま
衆議院議員	中村 裕之	さま
衆議院議員	橋本 聖子	さま
衆議院議員	和田 義明	さま
総務大臣政務官	衆議院議員 渡邊 孝一	さま
衆議院議員	逢坂 誠二	さま
衆議院議員	おおつき紅葉	さま
衆議院議員	佐藤 英道	さま
参議院議員	横山 信一	さま
参議院議員	若松かねしげ	さま
参議院議員	鈴木 宗男	さま
北海道議会議長	小畑 保則	さま
函館市長	工藤 壽樹	さま
旭川市長	今津 寛介	さま
室蘭市長	青山 剛	さま
岩見沢市長	松野 哲	さま
江別市長	三好 昇	さま
千歳市長	山口幸太郎	さま
北広島市長	上野 正三	さま
石狩市長	加藤 龍幸	さま
当別町長	後藤 正洋	さま
札幌市商店街振興組合連合会 理事長	島口 義弘	さま

祝電(順不同)

札幌弁護士会	会長 佐藤 昭彦	さま
日本電信電話株式会社	取締役 執行役員 新ビジネス推進室長 工藤 晶子	さま
北洋銀行	取締役頭取 安田 光春	さま
北海学園大学	学長 安酸 敏真	さま
株式会社北海道銀行	代表取締役会長 笹原 晶博	さま
	代表取締役頭取 兼間 祐二	さま
北海道信用金庫	会長 吉本 淳一	さま
	理事長 佐藤 信明	さま
北陸銀行	取締役頭取 中澤 宏	さま



祝花(順不同)

株式会社セコマ	代表取締役社長 赤尾 洋昭	さま
株式会社テレビ北海道	代表取締役社長 桑田 一郎	さま
札幌テレビ放送株式会社	代表取締役社長 井上 健	さま
北海道テレビ放送株式会社	代表取締役社長 寺内 達郎	さま
北海道文化放送株式会社	代表取締役社長 鶴井 亨	さま
HBC北海道放送株式会社	代表取締役社長 勝田 直樹	さま
北洋銀行	取締役頭取 安田 光春	さま
株式会社北海道銀行	代表取締役会長 笹原 晶博	さま
	代表取締役頭取 兼間 祐二	さま
北海道信用金庫	会長 吉本 淳一	さま
	理事長 佐藤 信明	さま